キャッシュフロー計算書作成ソフト
for Microsoft Excel 2000以上

＜取扱説明書＞
Ver.1.06

目　次

この度は、「Money Focus　Ver.1.06」をお買い上げありがとうございます。
CD付属の用品以外のソフトの取扱説明を明記致しました。
ご不明点・ご質問等は、FAXならびにE-mailにて、お願い申し上げます。

キャッシュフロー計算書作成ソフト
for Microsoft Excel 2000以上

＜取扱説明書＞
Ver.1.06

起動方法

例1：「スタート」メニューの
「すべてのプログラム」
→「Money Focus」を選択する。

例2： Money Focus デスクトップ上にでてくるショートカットのアイコンをダブルクリックする。

使用方法

Money Focusのアイコンをダブルクリックするとメインメニューの画面に変わります。
メインメニューでは下記のとおり2種類のフォームを選択することができます。
これらをクリックすると、各フォームの操作画面に変わります。

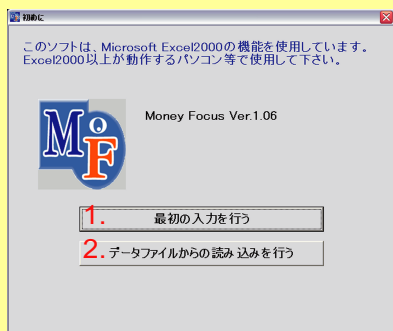
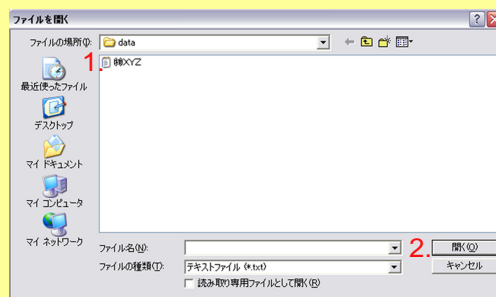
1. 新規データを作成するとき

「初めに」の画面で 1.最初の入力を行うをクリックする。
(続きは2ページ目参照)

2. 既存データを修正/繰越するとき

(1) 2.データファイルからの読み込みを行う
をクリックする。(下記参照)

「初めに」画面

(2) 1.既存ファイル名を指定して、
2.開くをクリックする。

「ファイルを開く」画面

(3) 1.前回のデータの修正 または、
2.繰り越して新年度の入力をクリックする。

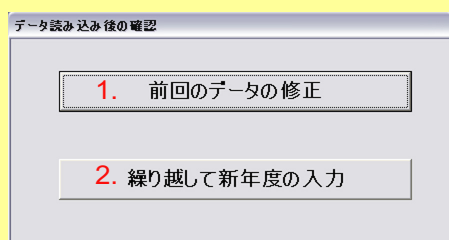
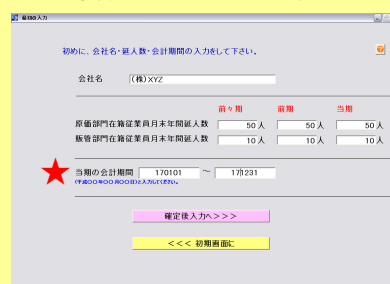
ポイント：繰り越されたデータは、
前々期の各画面に移行される。

データ読み込み後の確認

1. 前回のデータの修正

2. 繰り越して新年度の入力

「データ読み込み後の確認」画面

ポイント：「前月のデータの修正」を選択した場合
→前回のデータがそのまま表示される。
「繰り越して新年度の入力」を選択した場合
→繰り越すデータの当期の会計期間が
1年繰り越しされて表示される。(★部分)

「最初の入力」画面

確認して間違いがなければ「確定後入力へ」
をクリックする。

キャッシュフロー計算書作成ソフト
for Microsoft Excel 2000以上

Ver.1.06

1. 新規データを作成するとき（つづき）

「最初の入力」画面

1.会社名を入力する。
2.3.4.原価部門在籍従業員月末年間延人数を入力する。
5.6.7.販管部門在籍従業員月末年間延人数を入力する。
8.当期の会計期間を「160101」のように入力する。

※「確定後入力へ」をクリックすると次の画面へ移動する。
※「初期画面に」をクリックすると「初めに」の画面へ移動する。
→続きは下記の通り

2. 既存データを修正/繰越するとき（つづき）

入力手順 1

前々期の貸借対照表

[1]流動資産の区分
[2]固定資産等の区分
[3]負債の区分
[4]資本の区分

1－1. 前々期の貸借対照表の入力

前々期資産の合計	1.	995,437
流動資産の合計	2.	416,997
1. 現金及び決済性預金	3.	27,050
2. 投資預金	4.	222,519
3. 営業債権	5.	153,078
4. 棚卸資産	6.	13,400
5. 貸倒引当金▲	7.	0
6. その他の流動資産	8.	950

前々期負債・資本の合計		995,437
資本の合計	9.	291,211
1. 資本金	10.	23,750
2. 資本準備金	11.	22,082
3. 利益準備金	12.	24,450
4. その他の利益剰余金	13.	220,929
5. 前々期繰越利益	14.	187,726
6. 内税金調整前利益	15.	34,137

「1-1.大区分で入力/流動（左側）」画面
「1-1.大区分で入力/資本（右側）」画面

「1-1.大区分で入力/固定（左側）」画面
「1-1.大区分で入力/負債（右側）」画面

[1]流動資産の区分
1. 前々期資産の合計を入力する。
2. 流動資産の合計を入力する。
3. 現金及び決済正性預金額を入力する。
4. 投資預金額を入力する。
5. 営業債権額を入力する。
6. 棚卸資産額を入力する。
7. 貸倒引当金▲を入力する。
8. その他流動資産は自動計算される。

[4]資本の区分
9. 資本の合計は自動計算される。
10. 資本金を入力する。
11. 資本準備金を入力する。
12. 利益準備金を入力する。
13.14.15.その他の利益剰余金/前々期繰越利益/
内税金調整前利益は自動計算される。

[2]固定資産等の区分
1. 前々期資産の合計を入力する。
2. 固定資産の合計を入力する。
3. 有形固定資産額を入力する。
4. 減価償却費累計▲を入力する。
5. 無形固定資産を入力する。
6. 投資・貸付金額を入力する。
7. 貸倒引当金▲を入力する。
8.9.その他固定資産/繰延資産は自動計算される。

[3]負債の区分
10. 負債の合計を入力する。
11. 流動負債の合計を入力する。
12. 営業債務額を入力する。
13. 未払い法人税等を入力する。
14. 未払配当・役員賞与を入力する。
15. 短期借入金を入力する。
16.17.その他の流動負債/固定負債の長期借入金等は自動計算される。

新規/既存データを作成/修正/繰越するとき（つづき）

入力手順 2

[1-2]前々期の損益計算書の入力
[1-3]前々期の脚注の入力

「1-2.大区分で入力/前々期の損益計算書」画面

[1-2]前々期の収入の区分

1. 売上高を入力する。
2. 営業外収益を入力する。
3. 特別利益を入力する。

[1-2]前々期の支出の区分

4. 売上原価を入力する。
5. 売上原価内直接原価を入力する。
6. 売上総利益は自動計算される。
7. 販売費及び一般管理費を入力する。
8. 営業損益は自動計算される。
9. 営業外費用を入力する。
10. 経常損益は自動計算される。
11. 特別損失を入力する。
12. 税引前　前期純損益は自動計算される。
13. 法人税等を入力する。
14. 前期純損益は自動計算される。

[1-2]前々期の利益処分の区分

15. 繰越未処分利益を入力する。
16. 未処分利益は自動計算される。
17. 株主配当金を入力する。
18. 役員賞与を入力する。
19. その他の利益処分を入力する。
20. 次期繰越未処分利益は自動計算される。

1．大区分で入力
1-1．前々期の貸借対照表　1-2．前々期の損益計算書　1-3．前々期の脚注　1-4．前期の貸借対照表　1-5．前期の損益計算書　1-6．前期の脚注
1－3．前々期の脚注の入力

千円単位
1．売上原価　753,082　中の減価償却費合計　1. 64,678
2．販売費及び一般管理費　338,359　中の減価償却費合計　2. 2,619
3．有形固定資産　793,613　中の売上原価対応分　3. 533,423
4．有形固定資産　793,613　中の販売費及び一般管理費分　4. 260,190
5．売上原価　753,082　中の人件費合計　5. 205,787
6．販売費及び一般管理費　338,359　中の人件費合計　6. 182,289
7．現金及び現金同等物に係わる為替換算差益　7. 0
8．現金及び現金同等物に係わる為替換算差損▲　8. 0
9．減価償却累計額　413,238　中の原価に対応する部分の金額　9. 390,951
＜＜前の区分へ　次の区分へ＞＞
最初の入力へ戻る　シュミレーション基礎値の入力へ＞＞

「1-3.大区分で入力/前々期の脚注の入力」画面

[1-3]前々期の脚注の区分

1. 売上原価中の減価償却費の合計を入力する。
2. 販売費及び一般管理費中の減価償却費の合計を入力する。
3. 有形固定資産中の売上原価対応分は自動計算される。
4. 有形固定資産中の販売費及び一般管理費分は自動計算される。
5. 売上原価中の人件費の合計を入力する。
6. 販売費及び一般管理費中の人件費の合計を入力する。
7. 現金及び現金同等物に係わる為替換算差益を入力する。
8. 現金及び現金同等物に係わる為替換算差損▲を入力する。
9. 減価償却累計額中の原価に対応する部分の金額を入力する。

新規/既存データを作成/修正/繰越するとき（つづき）

入力手順 3

前期の貸借対照表の入力

[1]流動資産の区分
[2]固定資産等の区分
[3]負債の区分
[4]資本の区分

「1-4.大区分で入力/流動（左側）」画面
「1-4.大区分で入力/負債（右側）」画面

「1-4.大区分で入力/固定（左側）」画面
「1-4.大区分で入力/資本（右側）」画面

[1]流動資産の区分

1. 前々期資産の合計を入力する。
2. 流動資産の合計を入力する。
3. 現金及び決済正性預金額を入力する。
4. 投資預金額を入力する。
5. 営業債権額を入力する。
6. 棚卸資産額を入力する。
7. 貸倒引当金▲を入力する。
8. その他の流動資産は自動計算される。

[3]負債の区分

9. 負債の合計を入力する。
10. 流動負債の合計を入力する。
11. 営業債務額を入力する。
12. 未払い法人税等を入力する。
13. 未払配当・役員賞与を入力する。
14. 短期借入金を入力する。

15.16.その他の流動負債/固定負債の長期借入金等は
自動計算される。

[2]固定資産等の区分

1. 固定資産の合計を入力する。
2. 有形固定資産の合計を入力する。
3. 上記の内、償却費が売上原価に算入される
資産の取得価額を入力する。
4. 減価償却費累計▲を入力する。
5. 無形固定資産を入力する。
6. 投資・貸付金額を入力する。
7. 貸倒引当金▲を入力する。

8.9. その他の固定資産/繰延資産は自動計算される。

[4]資本の区分

10. 資本の合計は自動計算される。
11. 資本金を入力する。
12. 資本準備金額を入力する。
13. 利益準備金額を入力する。

14.15.16. その他の利益剰余金/前々期繰越利益
/内税金調整前利益は自動計算される。

新規/既存データを作成/修正/繰越するとき（つづき）

入力手順 4

↓ [1-5]前期の損益計算書の入力
[1-6]前期の脚注の入力

「1-5.前期の損益計算書の入力」画面

[1-5]前期の収入の区分

1. 売上高を入力する。
2. 営業外利益を入力する。
3. 特別利益を入力する。

[1-5]前期の支出の区分

4. 売上原価を入力する。
5. 売上原価内直接原価を入力する。
6. 売上総利益は自動計算される。
7. 販売費及び一般管理費を入力する。
8. 営業損益は自動計算される。
9. 営業外費用を入力する。
10. 経常損益は自動計算される。
11. 特別損失を入力する。
12. 税引前　前期純損益は自動計算される。
13. 法人税等を入力する。
14. 前期純損益は自動計算される。

[1-5]前期の利益処分の区分

15.16. 繰越未処分利益/未処分利益は自動計算される。
17. 株主配当金を入力する。
18. 役員賞与を入力する。
19. その他の利益処分を入力する。
20. 次期繰越未処分利益は自動計算される。

「1-6.前期の脚注の入力」画面

[1-6]前期の脚注の入力

1. 売上原価中の減価償却費の合計を入力する。
2. 販売費及び一般管理費中の減価償却費の合計を入力する。
3. 有形固定資産中の売上原価対応分は自動で計算される。
4. 有形固定資産中の販売費及び一般管理費分は自動で計算される。
5. 売上原価中の人件費の合計を入力する。
6. 販売費及び一般管理費中の人件費の合計を入力する。
7. 現金及び現金同等物に係わる為替換算差益を入力する。
8. 現金及び現金同等物に係わる為替換算差損▲を入力する
9. 減価償却累計額中の原価に対応する部分の金額を入力する。

新規/既存データを作成/修正/繰越するとき（つづき）

入力手順 5

[2]シュミレーション基礎値の入力
（計画率の設定）
[3-1]シュミレーション基礎値の入力
（計画額の設定1）
[3-2]シュミレーション基礎値の入力
（計画額の設定2）

2. シュミレーション基礎値の入力（計画率の設定）

2. シュミレーション基礎値の入力（計画額・率の設定）

根拠とした計算式	前期実績	計画単価・率	単位	入力項目の計算目的	計算結果
対前期比増・減収率 = 前期売上高 / 前々期売上高	4.00	1. 0.00	%	計画期の売上高の計算	0.00
受取a/c回転率（年回転数） = 前期売上高 / (期首受取勘定+期末受取勘定)÷2	-1.0	2. 0.0	回転数（回転日数）	計画期末の受取勘定残高の計算	0.00
棚卸資産回転率（年回転数） = 直接原価 / (期首棚卸資産+期末棚卸資産)÷2 （回転率→）（1回転日数→）	0.0 64,742.89	3. 0.0	回転率	計画期末の棚卸資産残高の計算	0.00
支払a/c回転率（年回転数） = 直接原価 / (期首支払勘定+期末支払勘定)÷2 （回転率→）（1回転日数→）	0.0 38,662.96	4. 0.0	回転率	計画期の末支払勘定残高の計算	0.00
直接原価率 = 直接原価 / 売上高 ×100	6.0	5. 0.0	%	計画期の直接原価の計算	0.00
原価部門の減価償却費率 = 原価部門減価償却費 / 前期末償却資産+前期償却費 ×100	95.0	6. 0.0	%	計画期の原価部門償却費の計算	0.00
販管理部門の減価償却費率 = 販売管理部門減価償却費 / 前期末償却資産+前期償却費 ×100	1.0	7. 0.0	%	計画期の販管部門償却費の計算	0.00
原価部門人件費水準（月額） = 原価部門人件費 / 原価部門延人数×12	13	8. 0	千円	計画期の原価部門人件費	0.00
販売管理部門人件費水準（月額） = 販管部門人件費 / 販管部門人数×12	7	9. 0	千円	計画期の販管部門人件費	0.00
利子負担率 = 支払利息 / (期首長短借入金+期末長短借入金)÷2	11.000	10. 0.000	%（平均年利）	計画期の支払利息	0.00

<< 大区分の入力へ戻る　　シュミレーション基礎値の入力（計画額の設定1）>>

「2.シュミレーション基礎値の入力」画面
（計画額・率の設定）

3-1. シュミレーション基礎値の入力（計画額の設定1）

3-1. シュミレーション基礎値の入力（計画額の設定1）　千円単位

設定項目	前期実績	計画額
売上原価中の期間原価（人件費. 減価償却費を除く）	35,900	1. 35,000
販管費中の期間費用（人件費. 減価償却費を除く）	151,903	2. 151,500
計画期中投資預金純取り崩し額（取り崩し額 － 預け入れ額）	0	3. 0
計画期中投資預金純預け入額（預け入れ額 － 取り崩し額）	11,535	4. 0
期中に計画する設備投資の追加（減価償却資産）	*	5. 10,000
計画期中に予定する建物什器備品車両等購入（減価償却資産）	*	6. 0
計画期中に予定する土地等非減価償却資産投資	*	7. 0
計画期中に予定する繰延資産，無形固定資産の取得	*	8. 0
計画期中に予定する其他の投資（有価証券,貸付け,保険,保証金）	*	9. 0
計画期中に予定するれる固定資産,.投資等の売却、解約収入	*	10. 0
同上売却・除却・解約資産の帳簿価額	*	11. 0
同上の減価償却累計額（間接償却法採用の場合）	*	12. 0

<<シュミレーション基礎値の入力（計画率の設定）へ戻る　　シュミレーション基礎値の入力（計画額の設定2）>>

「3-1.シュミレーション基礎値の入力」画面
（計画額の設定1）

3-2. シュミレーション基礎値の入力（計画額の設定2）

3-2. シュミレーション基礎値の入力（計画額の設定2）　千円単位

設定項目	前期実績	計画額
外貨預金等CFについて予測される換算差益（内書）	0	1. 0
外貨預金等CFについて予測される換算差損（内書）	0	2. 0
計画期中の要支払い法人税，法人住民税.（含予定納付額）	18,071	3. 24,684
計画期中に支払う配当金	0	4. 0
計画期中に支払う役員賞与	0	5. 0
計画期中に予想される貸倒損失	*	6. 2,000
計画期中に予想される退職給与等の支払額	*	7. 0
計画期中長短借入金の純返済計画額（返済額 － 借り入れ額）	63,739	8. 50,000
期中長短借入金の純借り増し額計画額（借り入れ額 － 返済額）	0	9. 0
計画期中受取配当金. 受取利息収入、保険金、営業外収益等	57,451	10. 0
計画期中に予定される有償増資額	0	11. 0
期中に計画される自己株式買戻し額（買入償却額）	0	12. 0

<<シュミレーション基礎値の入力（計画額の設定1）へ戻る　　計画期利益処分（案）の入力>>

「3-2.シュミレーション基礎値の入力」画面
（計画額の設定2）

[2]シュミレーション基礎値の入力（計画額・率の設定）

※1～10までの入力項目には計画単価・率を入力する。
入力項目の計算目的は下記の通り

1. 計画期の売上高の計算をする。
2. 計画期末の受取勘定残高の計算をする。
3. 計画期末の受取勘定残高の計算をする。
4. 計画期の末支払勘定残高の計算をする。
5. 計画期の直接原価の計算をする。
6. 計画期の原価部門償却費の計算をする。
7. 計画期の販管部門償却費の計算をする。
8. 計画期の原価部門人件費の計算をする。
9. 計画期の販管部門人件費の計算をする。
10. 計画期の支払利息の計算をする。

[3-1]シュミレーション基礎値の入力（計画額の設定1）

※1～12までの入力項目には各計画額を入力する。

1. 売上原価中の期間原価の計画額
2. 販管費中の期間費用の計画額
3. 計画期中投資預金純取り崩し額の計画額
4. 計画期中投資預金純預け入額の計画額
5. 期中に計画する設備投資の追加の計画額
6. 計画期中に予定する建物什器備品車両等購入の計画額
7. 計画期中に予定する土地等非減価償却資産投資の計画額
8. 計画期中に予定する繰延資産、無形固定資産の取得の計画額
9. 計画期中に予定する其他の投資の計画額
10. 計画期中に予定する固定資産、投資等の売却、解約収入の計画額
11. 同上売却・除却・解約資産の帳簿価額の計画額
12. 同上減価償却累計額の計画額

[3-2]シュミレーション基礎値の入力（計画額の設定2）

※1～12までの入力項目には各計画額を入力する。

1. 外貨預金等CFについて予測される換算差益の計画額
2. 外貨預金等CFについて予測される換算差損の計画額
3. 計画期中の要支払い法人税、法人住民税の計画額（自動計算）
4. 計画期中に支払う配当金の計画額（自動計算）
5. 計画期中に支払う役員賞与の計画額（自動計算）
6. 計画期中に予想される貸倒損失の計画額
7. 計画期中に予想される退職給与等の支払額の計画額
8. 計画期中長短借入金の純返済計画額
9. 期中長短借入金の純借り増し額計画額
10. 計画期中受取配当金、受取利息収入、保険金、営業外収益等の計画額
11. 計画期中に予定される有償増資額の計画額
12. 期中に計画される自己株式買戻し額の計画額

キャッシュフロー計算書作成ソフト
for Microsoft Excel 2000以上

Ver.1.06

株式会社信陽堂 / ミックスアップ事業部

新規/既存データを作成/修正/繰越するとき（つづき）

入力手順 6

[4]計画期利益処分（案）の入力

4. 計画期利益処分(案)の入力　　千円単位

設定項目	処分額
合計未処分利益剰余金(前期繰越利益＋計画期純利益)	227,435
株主配当金(計画期利益処分配当)	1.　0
役員賞与(計画期利益処分役員賞与)	2.　0
利益準備金(計画期利益処分)	3.　0
別途積立金(計画期利益処分役)	0
その他準備金(計画期利益処分)	0
差引き次期繰越利益(差引き次期繰越利益)	227,435

＜＜シュミレーション基礎値の入力（計画額の設定2）へ戻る　　入力結果の表示 ＞＞

「4.計画期利益処分（案）」画面

[4]計画期利益処分（案）の入力

※1～3までの入力項目には各処分額を入力する。

1. 合計未処分利益剰余金の処分額（自動計算）
2. 株主配当金の処分額を入力する。
3. 役員賞与の処分額を入力する。
4. 利益準備金の処分額を入力する。
5. 別途積立金の処分額（自動計算）
6. その他準備金の処分額（自動計算）
7. 差引き次期繰越利益の処分額（自動計算）

入力結果

「入力結果」画面

入力結果

※今までの入力により5種類の計算書が作成可能である。

（下記参照）

1. 前期・キャッシュフロー計算書
2. 計画キャッシュフロー計算書
3. 三期比較BS.PL
4. 計画キャッシュフロー計算書（INDEX付き）
5. 前期・計画期・対比キャッシュフロー計算書（INDEX付き）
6. データを保存する。（下図を参照）
7. Money Focusを終了する。

保存方法

図「名前を付けて保存」画面

新規の場合

1. ファイル名を入力する。
2. 保存をクリックする。

データ保存場所：

インストール時指定された場所（通常C:ドライブ→
　Program Files→Money Focus→data）

上記以外の場所に保存したい場合は各自別途指定をしてください。